

(活動報告書様式)

団体名	NPO 法人山形県リサイクルポート情報センター		
事業名	酒田港でのリサイクル物流の活性化 (酒田港の新たな飛躍に向けたリサイクル物流の取組み)		
助成事業区分	団体支援助成事業		
団体の 所在市町村	酒田市	事業費	1,025,688 円
		うち助成金額	950,000 円



### ■事業目的

当NPO法人は、設立当初より国土交通省、山形県および酒田市などの行政とともに、酒田港の経済活動活性化とリサイクルポート機能を十二分に発揚する事を目的とし、毎年、酒田港国際資源循環フォーラムを開催し、各種啓蒙活動に取り組んでまいりました。本事業では、山形県民および多数の企業の皆様方から広く当NPO法人とリサイクルポート酒田港を活用していただくことで、酒田港の更なる利用活性化を生み出し、山形県内全体の経済の発展につなげることを目的にしております。

### ■事業内容

当NPO法人は、主に酒田港がリサイクルポート指定を受けた優位性を活かしながら、山形県内の経済発展ため、山形県内から発生するリサイクル品の広域販売・処理促進(ビジネスマッチング)に向けた

事業を行っております。私たちは県内外の様々な分野のリサイクル関連事業者と共同して、リサイクル品がうまくビジネスとして展開される事業活動により、長期的に継続可能な循環型社会の構築を目指すことを目的とし、活動を行いました。

- ① 山形県内外への酒田港利用PR。(物流拡大)
- ② 山形県内における循環資源のリサイクル物流情報の調査、実情把握。(情報収集)
- ③ 山形県内外におけるリサイクル品の営業支援。(販路拡大)

### ■事業効果と展望

#### ①事業効果

今年度より新たな事業として実施したクリンカ灰の有効利用は、廃棄物を再利用することで環境面への有利性が高く、今後も計画的に販売を継続して行きます。

循環資源の再利用と港湾関係業務に特化した当NPO法

人が、事業者同士の連携や新たな枠組みを構築させることにより、今後の、ビジネス分野が大きく広がっていく可能性があると期待されます。

#### ②今後の展望

山形県内の経済活性化に酒田港利用PRの強化とリサイクル品の営業支援は、県内への企業誘致、それに伴う雇用の増大、若年層の山形県内定着化等今後必要不可欠であると思います。それには、長期的に継続可能なビジネスマッチングを確実に展開していく必要があります。今後の酒田港の活性化にもつながると感じております。

※当NPO法人について、ホームページをご確認ください。

<https://www.shonai-recycle.jp/>